

視覚障害者も読書を

県図書館 愛教大准教授ら講演



参加者に電子端末の操作方法を説明する相羽准教授（中区の県図書館で

病气などで目が見えづら

い人にも読書を楽しんでもらおうと、中区の県図書館は三日、読書支援の機器や制度を紹介する「読書サポート体験イベント」を初めて開いた。当事者や家族ら約二十人が参加した。

講演では、自身も弱視である愛知教育大の相羽大輔准教授（三）が登壇し、大きな文字の大活字本や最新の拡大読書器、電子書籍の

使い方を紹介。「図書館はちょっとした工夫で便利に利用できる。利用の選択肢を広げてほしい」と話した。

図書館で視覚障害者らの

支援を担当する職員も登壇し、オンラインによる対面朗読といった館内の取り組みを説明。会場では参加者が読書支援のアプリを導入した電子端末に触れ、操作を体験した。参加した男性（七）は「電子端末は日常的に使用しているので、読書支援アプリの使用方法を知ることができて良かった」（大谷津元）